

H22.9.8 定住自立圏構想推進セミナー in 新潟



長岡地域定住自立圏の取組

長岡市地域振興戦略部

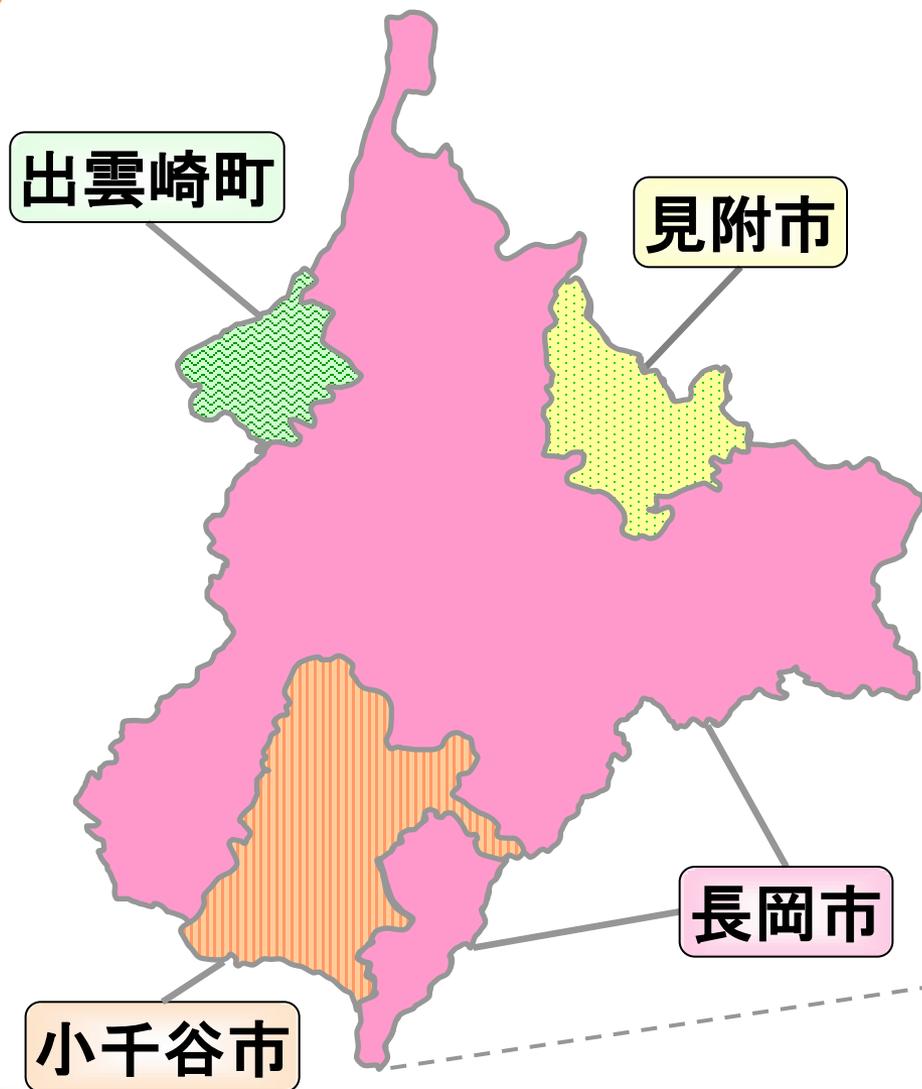
目次

- 1.構成市町 P4
- 2.定住自立圏に取り組む背景・経緯 5
- 3.圏域の面積 7
- 4.圏域の人口 8
- 5.圏域の年齢別人口構成比率 9
- 6.圏域内の産業別人口構成比率 10
- 7.中心市宣言の概要 11

目次（続き）

- 8.定住自立圏事業開始までの主な流れ P12
- 9.定住自立圏構想の検討・推進体制 13
- 10.定住自立圏形成協定の概要 14
- 11.共生ビジョンの概要 15
- 12.長岡圏域の将来像 16
- 13.具体的な取組 17

1.構成市町



■ 長岡地域定住自立圏は、長岡市、小千谷市、見附市及び出雲崎町の3市1町で構成

2.定住自立圏に取り組む背景・経緯（1）

- 当圏域は、古くからの歴史を有し、豊かな自然や地域資源を活用した独自の産業、文化を醸成
- 4市町は通勤、通学、買物、レジャーなどで密接な関係にあり、以前から生活圏を構成
- 平成6年3月の長岡地域広域行政組合の設立以来、人材育成、観光振興、スポーツ振興等のソフト事業を連携して推進
- 中越大震災、中越沖地震などの大規模災害の被災体験を共有

2.定住自立圏に取り組む背景・経緯(2)

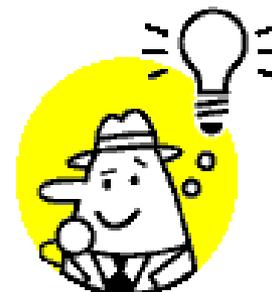
地方分権

人口減少

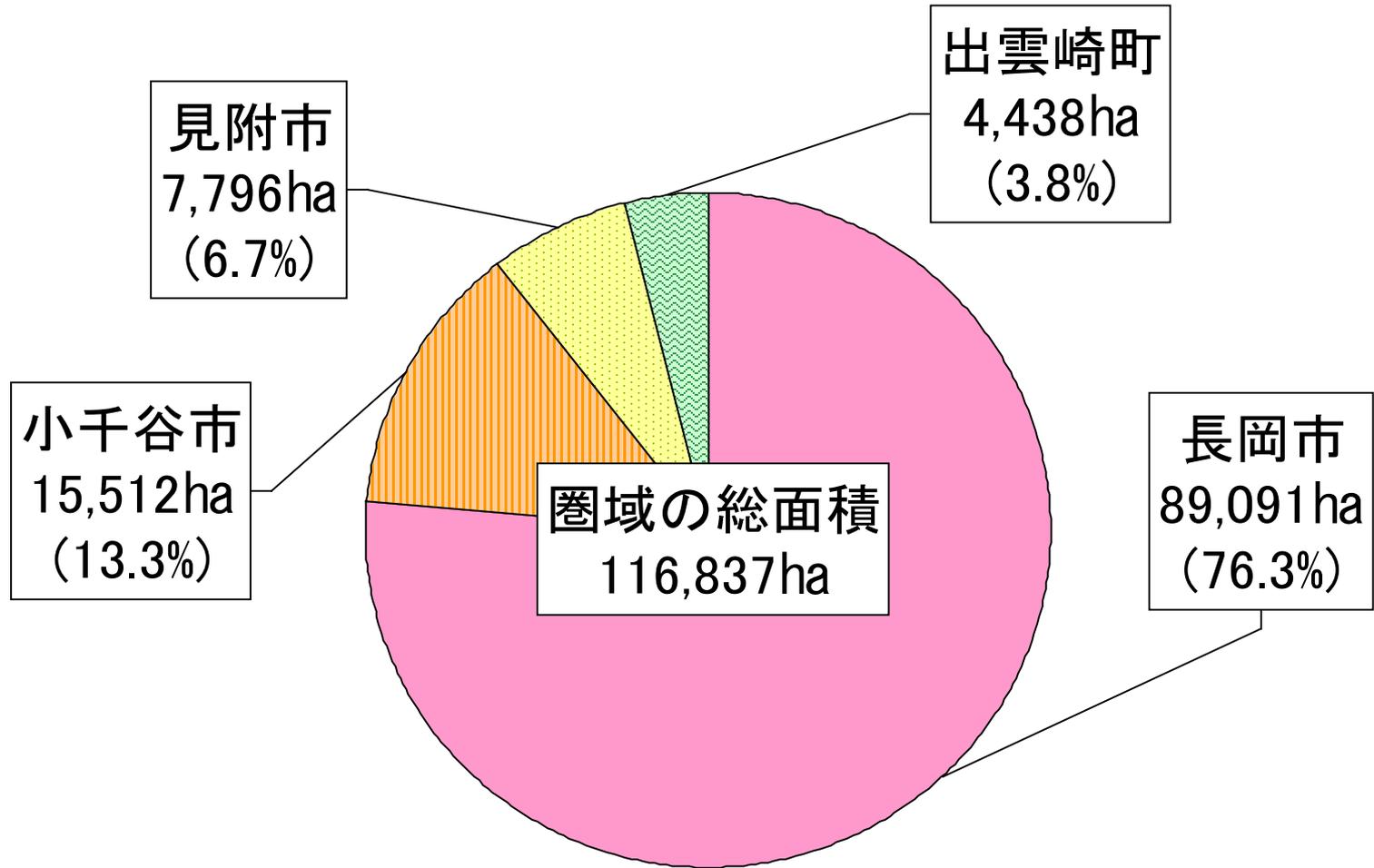
少子高齢化

広域行政組合解散・定住自立圏構想の推進

自立的・持続的な地域づくり

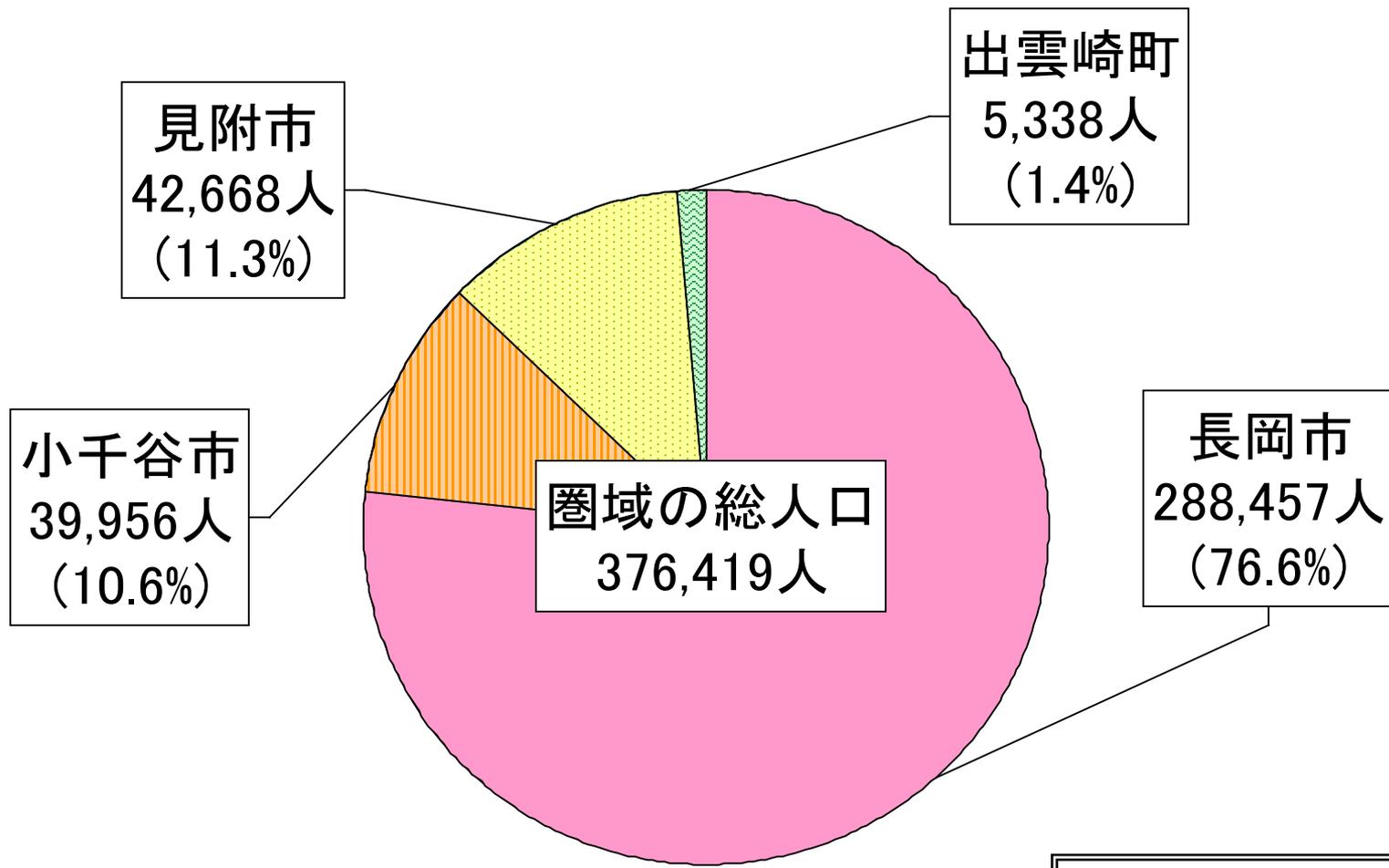


3.圏域の面積



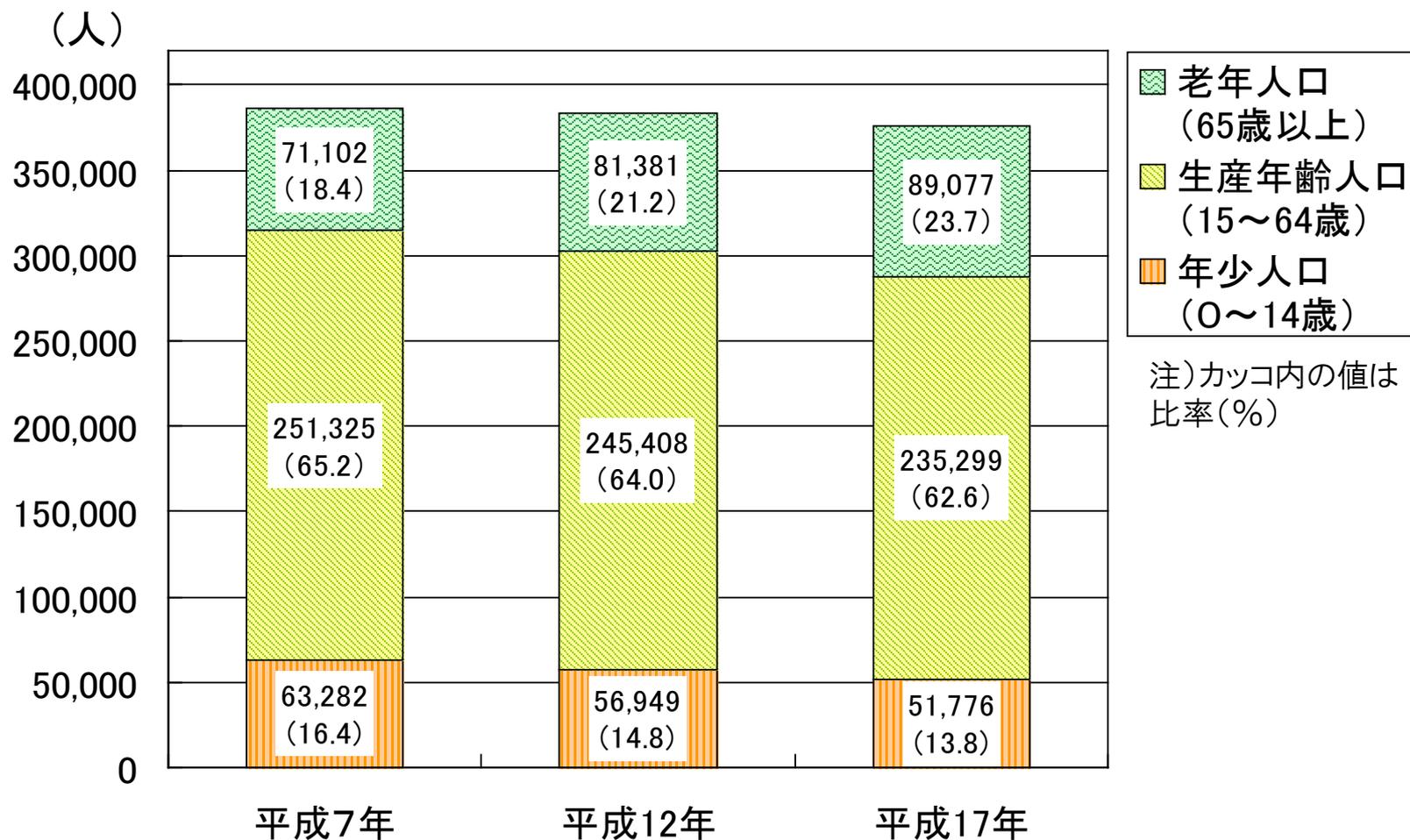
出典：第119回新潟県統計年鑑(県統計課)

4.圏域の人口(平成17年10月1日現在)



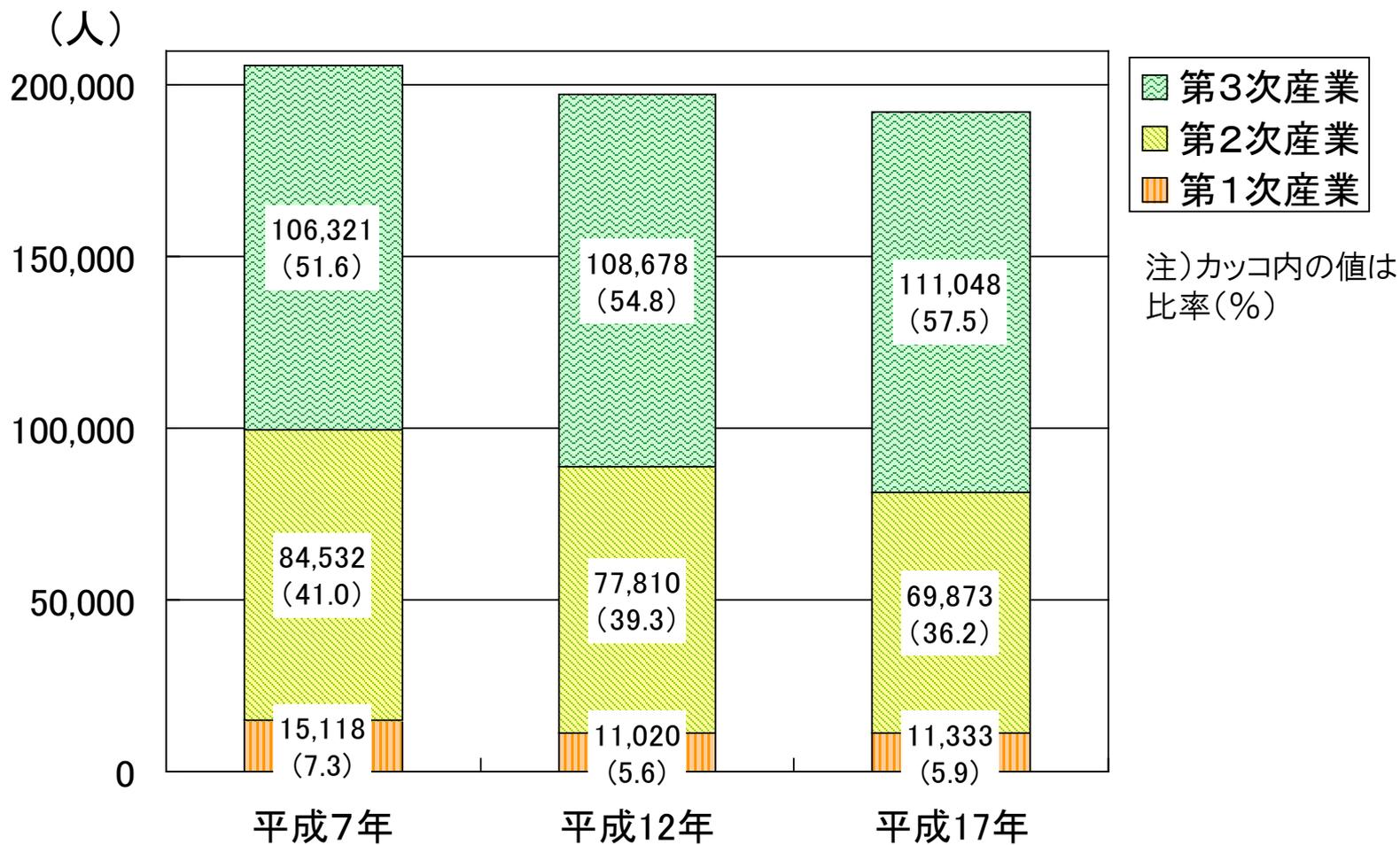
出典:総務省「国勢調査」

5.圏域の年齢別人口構成比率



出典：総務省「国勢調査」(各年10月1日現在)

6.圏域内の産業別人口構成比率



出典：総務省「国勢調査」(各年10月1日現在)

7. 中心市宣言の概要

■ 中心市の要件

項目	要件	長岡市
人口	5万人程度以上 (少なくとも4万人超)	約28万人
昼夜間人口比率	1.0以上	1.03

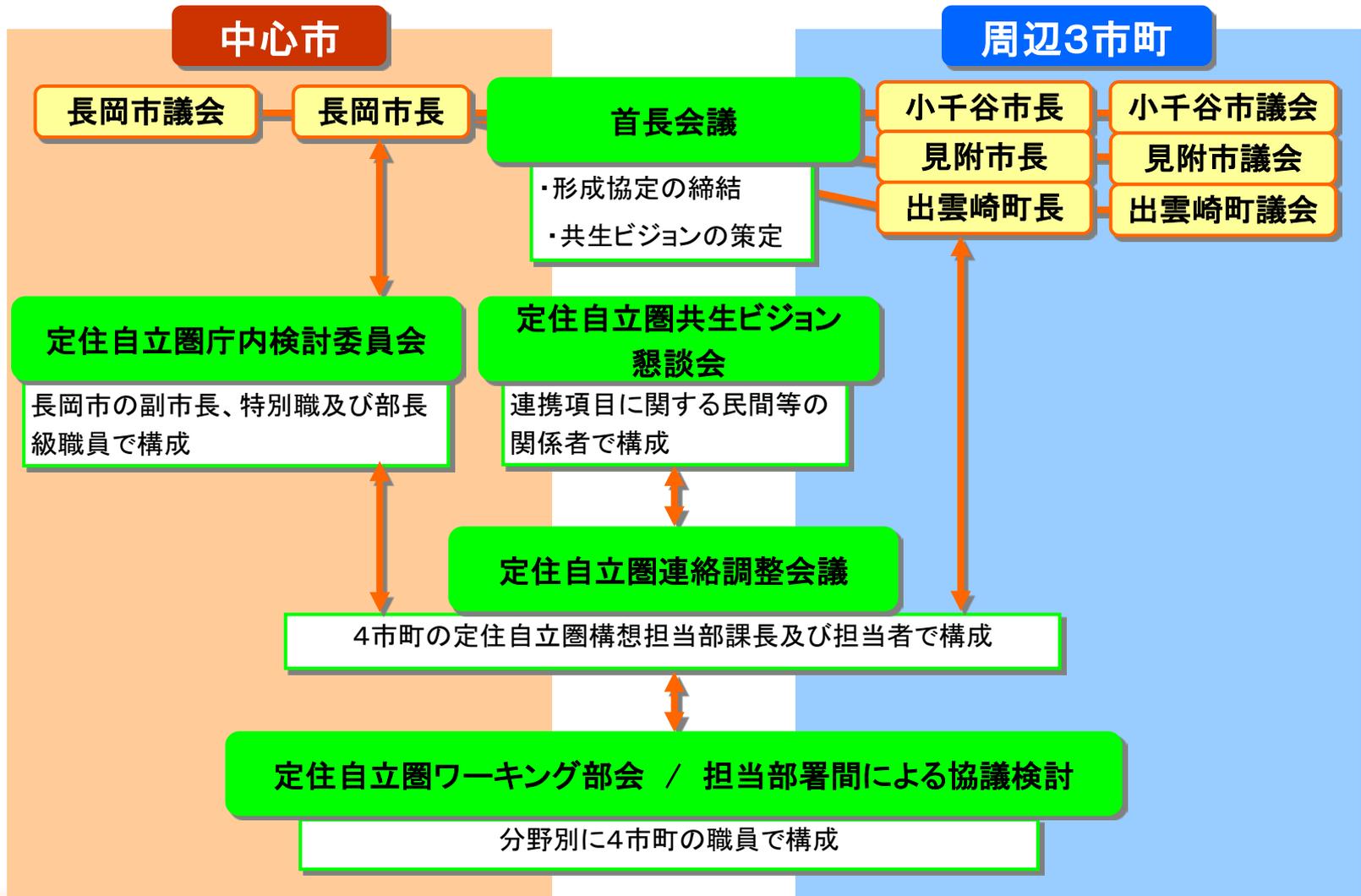
■ 記載事項

- 中心的な役割を担うとともに、当該市町村の住民に対して積極的に各種サービスを提供していく意思
- 都市機能の集積状況
- 想定する取組
- 通勤通学割合が0.1以上である市町村名(小千谷市、見附市、出雲崎町)

8.定住自立圏事業開始までの主な流れ

- 平成20年12月 総務省から先行実施団体に選定
- 平成21年 3月 中心市宣言を行う
- 平成21年 9月 形成協定の締結等を議会の議決事件にする条例を制定
- 平成21年12月 定住自立圏形成協定締結議案議決
定住自立圏形成協定を締結
- 平成22年 3月 定住自立圏共生ビジョン策定
- 平成22年 4月 定住自立圏事業開始

9.定住自立圏構想の検討・推進体制



10.定住自立圏形成協定の概要



定住自立圏形成協定の締結式
(平成21年12月21日)

- 「生活機能の強化」、「結びつきやネットワークの強化」、「圏域マネジメント能力の強化」の3つの視点ごとに、具体的な取組を1つ以上規定
- 中心市と周辺市町1対1で締結(議会議決が必要)
- 当地域では、平成22年度から16の連携項目について取組を開始

11.共生ビジョンの概要



共生ビジョン懇談会

- 圏域の将来像、形成協定に基づく取組等を記載
- 期間：平成22年度から5年間（毎年見直しを行う）
- ビジョン懇談会における協議・検討が必要

12.長岡圏域の将来像

■ 取組の視点

各市町の適切な役割分担・相互連携

地域資源の有効活用

圏域内外の交流の推進

社会的・経済的活動の活性化

■ 基本的方向

圏域全体での生活機能の確保

圏域全体での活力の創出

■ 目指す姿

安全・安心、快適に暮らせる圏域
中越地域の発展（人づくり、経済、文化等）

13.具体的な取組(1)

■ 救急医療事業

- 長岡休日・夜間急患診療所に対する財政的支援
- 長岡市中越地域こども急患センターでの小児科サポート医体制の拡充
- 上記2施設の機能充実
- 医療機関の適切な利用に関する普及啓発
- 関係者による医療機関相互の役割分担と連携の検討



長岡市中越こども急患センター

13.具体的な取組(2)

■ 図書館の相互利用

- 圏域の住民が、圏域内の図書館を各市町の住民と同一基準で、所蔵資料の館外貸し出しや予約受付が可能



長岡市立中央図書館

13.具体的な取組(3)

■ 観光振興

- 観光情報を集約したPR用の印刷物等を共同で作成し、圏内外に配布
- 大都市圏等で観光イベントを開催



広域観光イベント(上野恩賜公園)

13.具体的な取組(4)

■ 廃棄物処理の広域化

- 施設の重大故障時等に、廃棄物処理を相互に行う応援体制の整備
- 圏域内廃棄物処理施設の統合・集約を目的とした、新たな施設整備に向けた検討

■ 生ごみのバイオガス化

- 長岡市による、生ごみバイオガス化施設の建設・運営
- 施設の供用開始後、周辺市町から排出される生ごみ受入体制の検討

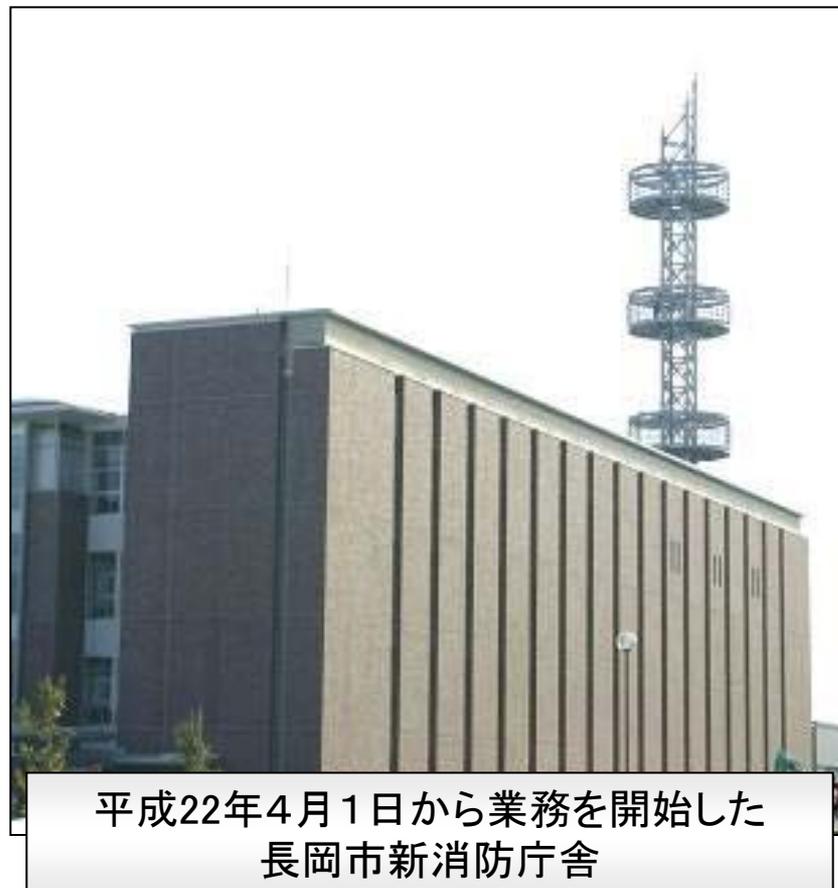
13.具体的な取組(4)-2



生ごみバイオガス化施設の完成予想図

13.具体的な取組(5)

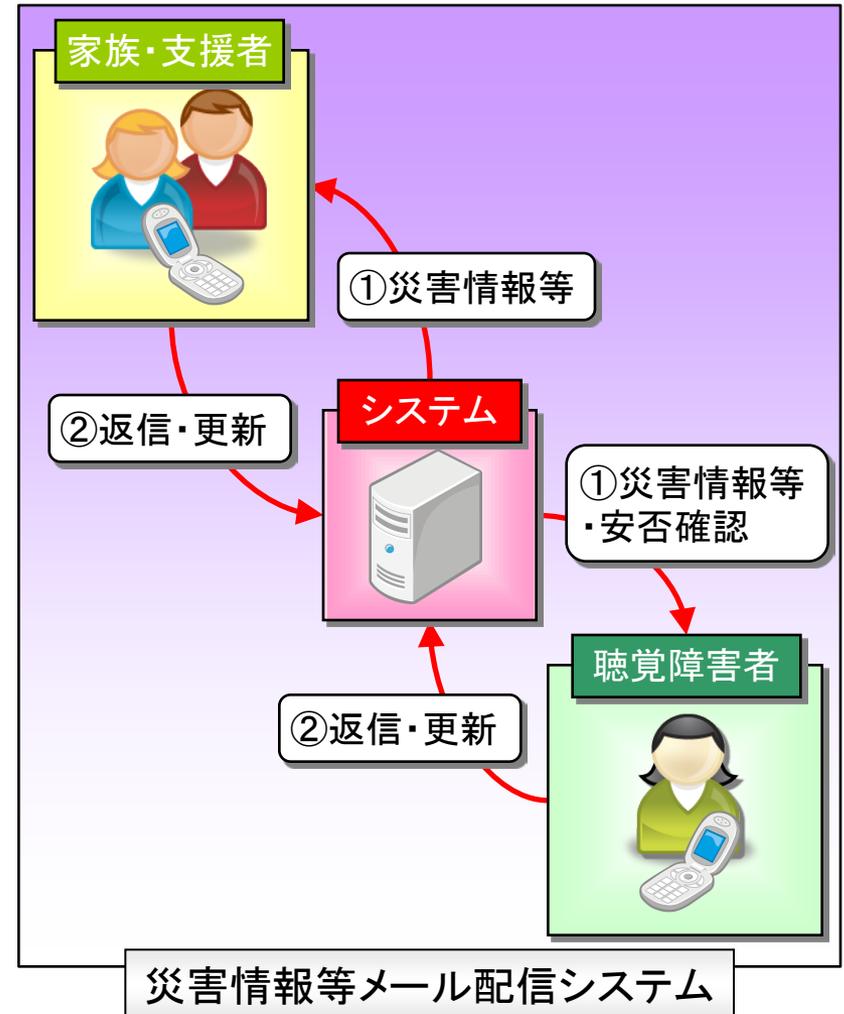
- 消防指令業務の共同化
 - 消防指令業務の一元化によるスケールメリットの共同研究
- 消防無線のデジタル化
 - 消防救急無線デジタル化の共同研究



平成22年4月1日から業務を開始した
長岡市新消防庁舎

13.具体的な取組(6)

- 中越市民防災安全大学支援
 - 中越市民防災安全大学への入校推奨及びカリキュラムの充実
 - 中越防災安全推進機構の活動支援
 - 中越市民防災安全士に対するフォローアップ講習会の開催
- 携帯メールによる災害情報等の配信
 - 災害情報等メール配信システムを周辺市町が利用するためのシステム改修
 - メール配信体制強化のための支援・運営



13.具体的な取組(7)

■ 男女平等

- 男女平等推進相談員の資質向上と出前相談事業の拡充
- 周辺市町による、ウィルながおか相談室のPRと相談業務の連携
- 長岡市DV防止ネットワークによる情報共有

■ 消費生活

- 消費生活に関する啓発資料の作成
- 消費生活相談員担当者会議の開催
- 専門機関との連携強化

13.具体的な取組(8)

■ 多文化共生

- 外国籍住民の生活相談に対する連携対応
- 日本語教室の連携対応
- 交流イベントの共同開催及び相互活用
- 多言語版市政情報誌等の内容充実



「ながおかにほんご広場」での
日本語支援

13.具体的な取組(9)

■ 地域公共交通 — 路線 バス支援

- JR長岡駅と周辺市町間を結ぶ基幹バス路線の維持
- 長岡市の山古志・小国地域と小千谷市を結ぶバス路線の維持
- 路線バスの維持に向けた関係機関との調整



長岡駅バスターミナル

13.具体的な取組(10)

- 情報通信基盤の整備① — ケーブルテレビ
 - 長岡市のケーブルテレビのサービス未提供地域における施設整備
 - 周辺市町におけるケーブルテレビのサービスエリア拡大の共同研究
- 情報通信基盤の整備② — コミュニティFM
 - FM放送事業者が整備する、放送中継局の整備費用への支援
 - FM放送事業者が行う、受信環境整備に必要な諸手続きへの協力・支援

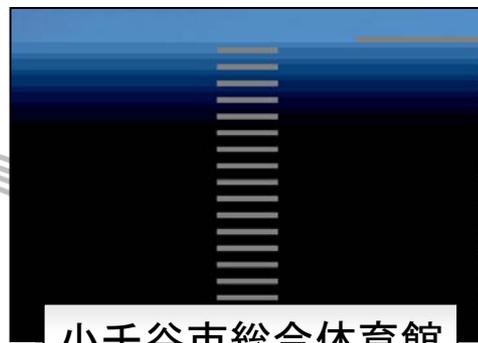
13.具体的な取組(11)

■ 公共施設の相互利用

- 運動及び集会・文化施設を、各施設が立地する市町の住民、団体と同一基準で利用が可能



長岡リリックホール



小千谷市総合体育館



見附運動公園



出雲崎テニスコート

13.具体的な取組(12)

■ 職員の人材育成

- 政策形成能力や圏域マネジメント能力等を向上させるための職員研修の合同実施

■ スポーツ指導者養成

- スポーツ指導者を対象としたコーディネーショントレーニング講習会の実施
- より専門性の高いスポーツ指導者に対する講習会の実施
- 各市町の参加による連絡協議会の設置・運営

ご清聴ありがとうございました